# 杉山あつしだより

発行者：杉山あつし（静岡県議会議員）　静岡市駿河区泉町1-12-202
第５号（2020年7月15日発行）　電話 054-204-1098　FAX 054-204-1099

## 一年を振り返って、初心忘れず議員としての更なる成長を目指します

昨年の選挙では、❶高齢者･障害者に優しいまちづくり、❷教育環境の整備と教員の多忙化解消、❸公園トイレの洋式化の推進、❹振り込み詐欺･特殊詐欺撲滅、❺地震対策、減災･防災対策の強化、❻原発に依存しない社会の実現、など身近な課題を訴え、駿河区の皆さんから12,804票を頂き当選。翌日の当選証書授与式では希望と不安が交錯し、責任の重さを痛感したことを思い出します。この一年、多くの仲間に支えられ精一杯頑張ってきました。

皆さんから頂いた期待と重みを力に、今後も初心を忘れず活動していきます。

### ●臨時県議会で産業委員会・副委員長に就任

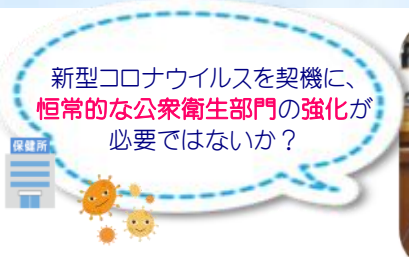
5月21日の臨時県議会で総務委員会から産業委員会に代わり、副委員長に就任。農業･商業･工業･水道事業から労働関係まで幅広い分野を担当します。

### ●日常活動・毎週 2回の街頭県政報告の継続

当選前から行っている駅周辺での街頭演説を県政報告として継続。県政にとって大きな課題となるリニア中央新幹線の流量減少問題、静岡市･清水庁舎の移転建替えの問題、新型コロナウイルスによる様々な対応についてなど報告しています。

「杉山あつしだより」を議会の都度発行、今回第5号を発行しました。ご覧ください。
皆さまからのご意見･提言をお待ちしています。

## 杉山あつし本会議質問（6/30）



**質問** 公衆衛生を担う保健所体制の強化を

**答弁** 健康福祉部長

想定される感染者数等に必要な人員の事前確保や業務内容に応じた事前研修の実施により、保健所の即応体制を整備します。また、新たな感染症の発生も見据えた長期的な体制強化として、保健所の新型コロナウイルス感染症対策を検証し、平常時及び感染症発生時それぞれにおける、市町や医師会等の関係団体、民間事業者との連携を含めた健康危機管理体制を整備します。

**質問** 脱炭素社会（ゼロカーボン）に向けた取組み

「気候非常事態宣言」「ゼロカーボンシティ宣言」の検討状況及び今後の**脱炭素社会**に向けた県の取組みは

**答弁** 川勝知事

本県の特性を踏まえた脱炭素社会実現への道筋、県民や企業の皆様と合意形成を図りながら、脱炭素社会に向けた取組みを進めます。

**県議会令和２年６月定例会 杉山あつし質問項目**

- ●公衆衛生を担う保健所体制の強化
- ●脱炭素社会･ゼロカーボンに向けた取組
- ●交通弱者の生活を守るバス路線の維持
- ●県内スポーツ大会等のイベント再開
- ●医療崩壊回避への病院経営の支援強化
- ●就労継続支援B型事業所への支援
- ●選挙投票率向上への取組み

## 質問　交通弱者の生活の足を守るバス路線の維持について

人口減少社会、少子高齢化社会の中で、将来に向けて交通弱者の生活の足を守る必要がある。高校生などの学生が自宅から公共交通で通えるよう、また、高齢者が買い物や通院をできるよう、今の路線を可能な限り維持すべきである。引き続き、必要な支援を行うべきと考えるが、現状の認識と今後の対策について、県の所見を伺う。

**答弁**　緊急事態宣言の期間中もバスの運行を継続した事業者に対して運行経費の一部を助成することに加えて、今後はバス路線維持については地域社会の皆さまや県、市町、交通事業者参画の公共交通会議の場において研究していく。

「県民生活の変革 必要」
来年度 新目標策定へ

## 質問　医療崩壊の回避への病院経営の支援強化

コロナ禍で入院･外来患者が減って病院経営が大変になっているこの時に、医療従事のボーナスを下げる提案が出ており、医療崩壊回避ための病院支援を強く訴えました。

**皆さんの声を県政に！**　福祉団体･ひまわり事業団、静岡商工会、中小企業団体中央会、済生会病院、徳洲会病院、丸子まちづくり協議会、静鉄ジャストライン労働組合等に、コロナ禍の影響や県政への要望を聞き取りに行き、質問に反映しました。



## ●新型コロナでの済生会静岡病院・石山院長との意見交換（5/12）

県中小企業団体中央会との意見交換（5/28）

済生会静岡病院の石山院長、杉原事務部長とコロナの影響についての意見交換を行いました（徳洲会病院とは5月29日に実施）。4月は新規入院･外来が15%落込み、1億7千万円の赤字経営、公立病院のような資金支援をぜひ行ってほしいとの要請を受けました。現在病院経営は民間も公立もどこも苦しい状況です。6月議会の本会議で川勝県知事に対応を要求しました。

## ●ひまわり事業団との意見交換（5/8）

障害者団体「ひまわり事業団」の小久江理事長、大川理事との意見交換を行い、新型コロナウイルス対策での介護従事者への配慮がない、避難所となる学校へのエレベーターの設置をしてほしい、パソコン利用による重度障害者の就労の場が拡大しているのに専門の訓練施設がない、などの意見をいただきました。

## ●大井川流域 8市2町60万人の生活水を守るため
## リニア問題では県議会議員として川勝知事を支えています

リニア新幹線問題では、JR東海から示されている水や環境対策の回答は60点程度の出来、せめて95点の回答をしてほしいと静岡県はあらゆる協議に臨んでいます。注目された6月26日のJR東海金子社長とのトップ会談がもの別れとなり、今後の動向を注視していきます。大井川流域8市2町の生活水を守る川勝知事の姿勢を支えていきます。

**リニア基礎知識**　*～静岡県からのトンネル掘りは3本～*

南アルプストンネルは計5本。内静岡県から掘るトンネルは、非常用トンネルで上と下に逃げるものの2本と本坑トンネルから出る水（毎秒2トン）の約3分の2を大井川に戻す導水路トンネル1本の計3本。掘り始める地区ごとヤード（作業場･詰め所）が必要。

南アルプスまで林道を用いて大きな重機を運ぶ必要があり、静岡市はJR東海の負担で林道拡幅や舗装を行う。林道整備の主目的は地元への配慮･還元ではなく、工事での資材運搬のため。林道整備を歓迎する静岡市の対応は水利用の8市2町（袋井、掛川～焼津、藤枝まで）と大きく異なる。

## ●丸子まちづくり協議会を訪問
### 自力歩行困難者の外出支援、宿場まつり運営など先進的取組を学ぶ（5/12）

NPO法人丸子まちづくり協議会を訪問し、近藤会長、三国専務理事から長田西学区での無償ボランティアで歩行困難者の外出支援（通院・買物）を実施している運営上の苦労などをお聞きしました。

連合町内会からの会費と個人からの賛助会費で運営。法令の関係で燃料代しか請求できず、いつも資金不足で悩んでいることがわかりました。是非とも活動を続けてほしいと思います。

丸子まちづくり協議会を訪問

## ●県への申入れで「イチゴ狩り農家」の休業補償対象を確認

休業補償・協力金の要望や確認の問合せに対応しました。静岡市の場合4月27日から5月6日まで休業した飲食店に対して、規模に関係なしに最低50万円の協力金が支給されました。休業に協力しても1000平方㍍以上なければ補償の対象外となっている業種（理容・美容など）からは不公平との声が寄せられました。

久能の石垣イチゴ狩り農家には当初市から観光農家は対象外との説明がありましたが、県担当課に確認、要望を行い、1000平方㍍以上の制限はあるものの対象との確認が取れ、支援者に報告しました。感染防止の目的に沿っていた制度への修正を求めました。

## ●3.11を忘れない 福島支援・街頭募金活動 （6/11）

福島第一原発事故による子どもたちの健康を守る活動を行っている団体を支援するための「福島支援・募金活動」に参加しました。3か月ごとの11日に静岡駅地下道で実施されています。放射線による子どもたちの甲状腺がんの発生が多いとの報告もあり、継続支援していきます。

**原発事故を風化させない**

県危機管理課との交渉に立ち合い

## ●浜ネットと県危機管理部との交渉立会い （6/16）

浜岡原発を考える静岡ネットワーク（浜ネット）は、長年原発に依存しない社会の実現、地震と原発が共存できないことを訴えている脱原発の団体です。県危機管理部との交渉に立会いました。原発再稼働の目途が立たない中、停止以前に発注した燃料棒の納品などで多くの意見交換がなされました。周辺自治体・地元合意の必要性などの再確認ができました。

## ●政策形成支援プロジェクト （6/16）

津富宏県立大学教授を中心に4人の研究者に集まっていただき、生活弱者支援、差別解消などそれぞれの研究者の問題意識を出し合い、政策を作り発信していくプロジェクトを立上げました。人種・性差別、所得の再分配・平等性、コロナによる学生の生活困窮、最低賃金改善、空き公営住宅の学生入居、防災での女性リーダーの必要性など多くの課題が出されました。整理して次回8月に向け検討していきます。

政策形成プロジェクト

## ●献血通算301回達成（5/16）

通算301回目の献血を行い、300回の記念品を頂きました。(30年前は400ml献血が2回分にカウントされていたので正確には300回していないです）皆さんも是非ともご協力ください。

献血300回記念品

ゴミゼロ・大浜海岸

## ●ゴミゼロ・大浜海岸清掃活動（6/21）

長女とゴミゼロの大浜海岸清掃活動に参加しています。毎週第3日曜8時から実施されている行事です。今回は人々の活動の活性化がわかる花火ゴミが目立ちました。プラゴミによる海洋汚染が注目される中、民間団体の行う活動の支援も大切です。

## 編集後記

3月以降、新型コロナウイルスの影響により学校休校、出勤者の抑制、職場の歓送迎会、町内会のイベントなどが中止に追い込まれた。徐々に活動が再開されている中、7月に入り梅雨の豪雨の襲来、九州を中心に多くの方が亡くなり、また家屋が被害に被った。今年の国・県予算では川底を深くする「浚渫(しゅんせつ)」に多くの予算がついたが、今回の豪雨には間に合わなかった。静岡県へ急ぎ工事を始めるよう要請していく。

新型コロナにより研修会や講演会がZOOMなどのオンラインでの開催となり、自宅のパソコンを用い参加しています。知識の習得には十分ですが、人とのつながりが持てず、物足りなさを感じています。政策形成プロジェクトも始まり、今後もしっかりと学習し、県政に生かしていきたい。

5月31日ホームレス支援のため、東京・山谷の支援団体にマスクを300枚届けに行き、実態を聞き取りと炊き出しの手伝いをさせてもらった。新型コロナの影響でホームレスが増加、少しでも支援していきたい。

炊き出しのお手伝い

マスク３００枚を届けました

## 募集しています

●街頭県政報告の際の旗持ちや、郵便物発送準備などの簡単なお手伝いをしてくださる方
●ご自宅やお勤め先などに、杉山あつしのポスターの掲示をさせていただける方
●杉山あつしを囲むミニ集会を開きたい！杉山あつしの話をもっと聞きたい！という方
ご協力いただける方、ご要望、お問い合わせなどは、以下の事務所までお寄せください。

■杉山あつし事務所
静岡市駿河区泉町1-12-202
TEL:054-204-1098　FAX:054-282-0143
携帯電話:090-1279-1443
MAIL:info@sugiatsu.com
■静岡県職員組合(出身組合)
静岡市葵区追手町9-6県庁内
TEL:054-221-2186　FAX:054-221-3574

■杉山あつし県政報告会 のお知らせ
2020年10月17日（土）13:30～ 静岡県男女共同参画センターあざれあ ２階大会議場
第２部　ゲスト　徳川家広氏（公益財団法人徳川記念財団理事）(14:30～)

■杉山あつしの活動等は
公式HP・フェイスブック・ツイッターでご覧いただけます。